

伝えよう・広げよう・正義と平和を

平和・人権  
社会・宗教  
政治と暮らし  
分かち合い

No.42

# 共に生きる

編集／〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10 /瀬下幸弘 FAX093-622-1290

うづき  
卯月  
2014

細野水池歩こう会

4月6日(日)11時 白木橋駐車場  
ピンゴ景品募集しています。  
(山田・有吉・濱・瀬下まで)



椿の花一輪  
「事務所に飾って  
下さい」と戴きました。3/26



木村公一牧師

福岡国際キリスト教会(日本バプテスト連盟)牧師  
西南学院大学・福岡大学非常勤講師  
キリスト者政治連盟理事

「雷山・祈りの里」(主幹)

九条守りたいは、毎月第4土曜日に社会の様々な問題について学習会を開いています。3月22日は木村公一牧師を招き、原発問題についてお話を伺いました。特に、福島第一原発事故から見えてきた「原子力損害賠償法」は事故責任を原発製造企業(原発メーカー)は負わない(4条1項)仕組みとなっている点を取り上げ、その訴訟について解説され、分かち合いました。

はじめにチヨムスキーの次の言葉を紹介しました。

「現代国家資本主義の基本原理はコストとリスクを可能な限り社会化するが、その一方で利益は私物化される」。

コストとリスクの社会化とは、負担と危険を市民に負わせること、利益のみ自分たちのものと説明し、まさにこれは原核兵器廃絶に向けた福岡宣言」の意味について語りました。本題は、原子力損害賠償法が、事故により被害者を救済するためだが、実際には電力会社などを救済するものとなつている点についてでした。原子力損害賠償法は普段聞きなれないのですが、参加者たちはその説明に理解したようです。

※次号より3回ほどに分けて、講演内容をお知らせします。

「キリスト者・九条の会」北九州 守りたい学習会  
木村公一牧師

## 原発メーカーの責任を問う

稀代の悪首相は、  
とか憲法を解体します。  
うと改憲を研いでおり  
ます。一人でも多くの人々  
に訴えて、ストップさせ  
ましょう。(イラストも西山進さん)



## 4月のお知らせ

- ◆4月5日(土)下関アムネスティ(下関市民活動センター)…14時
- ◆4月6日(日)歩こう会(細野水池)…10時50分集合11時出発  
ピンゴゲームの賞品景品を集めています。
- ◆4月13日(日)英語ミサと交流(黒崎)…15時
- ◆4月14日(月)社会福音部会(アドラック)…19時
- ◆4月26日(土)キリスト者9条(西南KCC)…14時
- ◆4月27日(日)虹の会(黒崎教会-分かち合い)…ミサ後  
正義と平和全国大会実行委員会(大名町)…14時30分
- ◆4月29日(火)菊池恵楓園訪問…08時集合、出発  
集合場所は、援助修道会駐車場
- ◆5月3日(土)北九州9条まつり(5p.詳細)

援助修道会 修道院より

## 4月11日:イチイチ祈りの会

場所は修道院聖堂、午後7時から。  
どなたでもお出でください。



3月6日～9日 下関労働教育センターで

## 北九州閑門 ACO が台湾 MCW と交流

様々な社会活動に取組んでいる北九州閑門ACO(カトリック労働者運動)が、台湾労働者たちとの交流を行いました。通訳を介しての交流でしたが、同じ心で社会問題と向き合っている仲間同志、3泊4日の素晴らしい出会いの時となつたようです。ACO会員の岩本ナセさんからの報告が届きましたのでご紹介します。

「日本ACO運動がどんなことをしているのか知りたい。」という目的で、阿里山地区から60代アバイさんとサユングさん夫妻、40代モオさんとヤングイさん夫妻、台北地区からシンディさん31歳の5人が来られました。(写真)

台湾の人口は2,300万人。そのうち移住労働者40万人(阿里山でお茶畠に外国籍労働者がいる社会現象)、原住民3万人で原住民の9割がカトリックとキリスト教徒です。阿里山地区では神言会司祭やプロテスタントの長老たちと、どうやって生活上で聖書を実践するかを分ち合ったり、課題を理解しながら団結力を強化させていることです。

この阿里山原住民(高砂族)の方は200m～2,000mの高地で有機野菜(キャベツ、トマト、サラダ菜、かぼちゃ、トウモロコシ、アスパラ等)、高山茶、コーヒー、愛玉子を作り20世帯(1世帯2～4名)で班組織しています。市場との価格交



渉等の仲介としてNPO 瑪納有機文化生活促進会がありそのメンバーの一人としてシンディさんは働いています。有機野菜はJASマークを要し、土・水・作物の検査があり、政府機関の査察がはいります。

モオさんヤングイさん夫妻は長男と3人で有機肥料の土に切り替えて6年目。始めの3年間は収入が無く教会基金を借りて生活をつなぎました。今は作物全部商品となり、4人の子どもたちの通帳へ振り込み、お金の自己管理をさせていることです。

日本ACOの紹介もしました。現地学習では耶馬溪下郷農協で産直野菜、アイガモ農法等を見学、歴史学習では春帆樓(シュンパンロウ、日清講和条約会場)、彦島老いの山公園などを案内しました。

台湾・アバイさんの言葉  
「後ろを振り向くのではなく、前向きに行くことが大切」を心に刻みます。労働者の連帯を祈りながら…

北九州閑門カトリック労働者運動 岩本ナセ



## 日本軍「慰安婦問題」とは何か

山下明子さんがその問題点を語る(5)

※編集の都合上、講演内容の要点を掲載しています。

文責／編集部

### 前号のポイント

日本軍慰安婦問題が20年間も解決しないのは何故か。これを3つの視点から考える必要があります。その一つが支援者であり、名乗り出た被害者だけの運動ではないこと。そして性暴力のない社会を作る必要がある。

### 〈日本政府と韓国政府の相違〉

戦時下での性暴力解決には、戦争のない世界をつくる運動が必要で、歴史学者、宗教学者、様々なNGOも関わり大きな運動を作っていました。非常に大きな広がりをもった国際的運動でこれらの世界はこうなっていかなくてはならない。

ところが片方に国家、訴えられている当事者の日本があります。日本はどれほど証拠があがっても、認めて謝罪し補償することができないのかという問題があります。なぜか。ここに天

皇制の問題がしっかりと関わっているからです。

かたや韓国は国家がきちんと被害者側に寄り添うことができた国です。アジアの中では韓国だけです。被害者たちが韓国政府を相手に「なぜ国は自分達のことをきちんと考えないのであるか。日韓基本条約でも解釈に違いがあれば第三国を立て調停すべきとあるではないか」と憲法裁判所に訴え2011年に政府の側が違憲だとの判決が出たのです。この時には既にたくさんのハルモニたちが亡くなっていましたが「私たちでも勝つんだ」と驚いたそうです。韓国は民主化をしているので法律をきちんとします。憲法裁判所が「国がきちんと取組まないのは憲法違反」と判決を下したから突如大統領を中心に動き始めました。その動きがアメリカなどにも伝わっていくのです。日本の在特会などは韓国を名指しで良い韓国人も含め「殺せ」「南京大虐殺を日本で実行するぞ」と叫んでいます。(次号へ)

# 正義と平和全国集会・福岡大会まであと5ヶ月

2014年9月13日～15日 カテドラル大名町教会

正義と平和全国集会の内容などを紹介していきます。4月中旬頃にはポスターや案内書が配布される予定です。

## 2 9月14日(大会2日目)の講演はシーゲル神父

3日間にわたって開かれる正義と平和全国集会福岡大会の2日目は、2通りの参加方法が企画されており、中村彰神父(大会実行委員長)は次のように呼びかけています。



シーゲル神父  
神言修道会

「2日目は主日ミサの説教と講演をシーゲル神父様にお願いしています。神父様は聖書に基づく正義と平和の考え方の基本を話して下さいます。また、この日は10の分科会と6の現地学習があります。分科会として、日韓の問題、死刑廃止、薬物依存からの脱却、福島の現状、憲法問題、青年の労働問題、滞日外国人問題、障害者問題、女性と子どもの問題、貧困問題があります。

現地学習として、ホームレス支援、玄海原発、水俣、筑豊、下関、菊池恵楓園があります。福岡教区にいても知らなかった活動、訪れたことのない地があればぜひご参加下さい。」

シーゲル神父は1947年オーストラリア生まれ。昨年7月に教皇ヨハネ二十三世の「回勅バーチェム・イン・テリスー地上の平和」を訳した方で、主要著書に「聖書がみる現代」「福音と現代一宣教学の視点から」があります。またカトリック教会の考察の原理、判断の基準、行動の指標といわれる「教会の社会教説綱要」の訳者です。

実行委員会は「現代社会は解決困難な状況にある政治問題、環境問題、そして格差などの生きづらさを感じさせる社会問題、生活問題などが山積しています。この度、聖書が教える「正義と平和」の価値を改めてマイケル・シーゲル神父様の講演の中で学び、日々の生活のなかで課題解決への調和ある行動を示し歩みたいと思います。」と案内しています。

※次号では、分科会や現地学習についてをご紹介します。

3月23日 17名参加

分かち合のひととき

## 虹の会

次回4月27日ミサ後。  
どなたでもご参加ください。

### － 映画「チェルノブイリハート」を観て －

(2003年・マリアン・デレオ監督・米)《2004年アカデミー賞ドキュメンタリー短編賞受賞・2006年国連総会上映》

今月は1986年4月26日のチェルノブイリ原発事故の被曝被害に苦しむ人々の姿を描いたドキュメンタリー映画「チェルノブイリハート」を分かち合いました。

“チェルノブイリハート”とは穴を開いた心臓を指す言葉で、ベラルーシでは多くの子どもたちが障害を抱えて誕生しています。

マリアン・デレオ女性監督は避難地域に住み続ける村人、放射線治療の現場、小児病棟、乳児院での事実を誠実にフィルムに収め、現場で働く医師や看護師の慈しみのまなざしを通して、私たち

ひとりひとりに子どもたちの存在の重さと放射能の罪を問いかけています。

「多くの人にこの現実を知らせていく責任があるのではないか・・・」

「事実を知って、それぞれが判断していくことが大事ではないか・・・」

などの感想が寄せられ、人類におよぼす原発の在り方にについて分かち合いました。

\*このDVD「チェルノブイリハート」をご覧になりたい方は、高瀬までお知らせください。

# ポルトガルの日本最初の根拠地⑨

秋吉久紀夫

コエリヨ神父が、一五八五年三月三日付で、マニラのイエズス会上長のセデニヨ神父の仲介で軍事的援助を願い出た書簡の主要部分は、次のとおりである。

「主の愛により、非常な重要なこととして、陛下の代理者たる総督に伝え、当地のキリスト教会を

早急に救済していただきたい。そ

れはおよそ四〇年丹精こめて育て

て来た果実を失わないためである。

総督閣下に、兵隊・弾薬・大砲・

及び四艘のフラカータ船を日本の

この地に派遣していただきたい。

それは現在軍事力が不均衡で、こ

れに劣るため抵抗できず、他の異

教徒に大いに悩まされているから、

渡来する兵隊が危険な目にあうな

どと考えないでほしい。ただ安全

である。何故なら、特に大砲とそ

れを操作出来る兵隊を充分に搭載

と要請していたとは、思い考えるだけでも、全身がおののくばかり。あらためて彼らの日本での宣教活動とは、いつたい何だつたかを問い合わせなければならない。

した三、四艘のフラカータ船は、日本では珍しいので、当地のキリスト教徒の領主の支援をえて、この海岸全体を支配し、服従しようとしたしない敵に脅威を与えることが出来るのは疑いない。

このような日本に宣教活動に来ていたポルトガルの神父が、まさに堂々と武器と弾薬と大砲と、それを操作する兵士と、それらを搭載する数隻の軍艦の派遣を、マニラの上司の神父に要請していたのである。

あきらかに日本に派遣された初期の宣教師たちは、言語に絶するほどの辛苦を嘗めたであろうことは、充分認めるとしても、彼らがいくら宣教活動だからと言つて、これほどに途方もない利益を貢献する兵隊が危険な目にあうなどと考えないでほしい。

貿易商人と結びつき、さらに武器、弾薬に大砲を、それも一隻ではなく数隻もの軍艦の派遣をも、堂々

- |                               |         |           |
|-------------------------------|---------|-----------|
| 7 板橋勉著『聖サヴィエルと平戸切支丹』昭和二四年五月刊  | 生涯      | 昭和二三年十一月刊 |
| 8 永積洋子・武田万里子著『平戸オランダイギリス商館日記』 | 『キリスト教』 | 一九八一年一月刊  |
| 9 天理大学附属天理図書館編『ボルトガルと日本』      | 『キリスト教』 | 平成六年五月刊   |
| 10 岸野久・村井早苗編『キリスト教史の新発見』      | 『キリスト教』 | 一九九五年一月刊  |
| 11 古野清人著『隠れキリスト』              | 『キリスト教』 | 昭和四一年十一月刊 |
| 12 下野敏見著『タネガシマ風物誌』            | 『キリスト教』 | 一九六九年二月刊  |
| 13 近藤左衛門著『生月史稿』               | 『キリスト教』 | 一九六九年二月刊  |
| 14 戒印平著『日本早期耶蘇会史研究』           | 『キリスト教』 | 一九六九年四月刊  |
| 15 周燕著『傳教士与中外文化交流』            | 『キリスト教』 | 二〇二一年三月刊  |
| 16 王俊彦著『澳門的故事』                | 『キリスト教』 | 一九九九年一月刊  |
| 17 湯開建著『澳門開埠初期史研究』            | 『キリスト教』 | 一九四九年七月刊  |
| 18 『聖フランシスコ・ザビエル書簡抄』          | 『キリスト教』 | 一九九九年十一月刊 |

## 靖国神社 豆知識その4 (Y)

靖国神社の第一鳥居(大鳥居)と大灯籠(リレーフ)の間に「大村益次郎像」がある。幕末の薩長の軍政家で、“日本陸軍の父”といわれた。守旧派に暗殺されその死を悼んで建設されたもの。

明治40年頃、靖国神社は国民からどのように思っていたか、それを示す一つの材料を示したい。明治41年(1908)朝日新聞に連続掲載されたものがある。それは夏目漱石の「三四郎」。

その中に次の下りがある。「…ただ原口さんがしきりに九段の上の銅像の悪口をいっていた。あんな銅像をむやみに立てられては、東京市民が迷惑する。それより、美しい芸者の銅像でも捨てる方が気が利いているという説であった…」

(集英社文庫／夏目漱石「三四郎」p.226)

日露戦争後に書かれたものだが、小説家はこういう形で政治を揶揄しており、国民もさほど靖国神社に関心は薄かったと考えられる。「靖国信奉」が国民の脳裏にまで食い込んでくるのは、昭和時代になってから。



## 屋根の上のくじら (R)

青海島へ26年ぶりに行きました。翌年にNHK朝ドラ「和っ子の金メダル」の舞台になった青海島通のくじら館の屋根に鯨が。この内海で鯨を捕



り、皆で分け合っていた時代があったと知り驚きました。お土産に買った鯨肉は昔なつかしい味がしました。

日本漫画家協会  
日本漫画家会議



にし やま すずむ

西山 遼

さんの諷詩



「過去に目を閉ざすものは未来にも  
「古い言葉だがね」  
「古い言葉だがね」  
「過去に目を閉ざすものは未来にも  
「古い言葉だがね」

「核戦争を知らないな  
「ヒロシマ・ナガサキ・ピキーをし  
ないな」

「俺だけは助かる?  
「あめでたいこというなよ」

そういう、そんなに戦争をしたいのかい  
どこからかミサイルが飛んできてる  
東京が、福岡が 十秒で消える  
あまえは「どう」と溶けて  
放射性物質になつて  
この空をさまようのだ  
そして生き残つたものをじわじわと  
殺しながらさまよう

終わりに

## 共に生きるNo41.有難う (下関 M・Y)

平和についてとても深く考えられているので心強いです。・平良牧師の「沖縄も一緒じゃなきゃ独立は今でなくてもいいです…と日本政府はなぜ言わなかったのですか」は実に痛い所をついています。申し訳ないことです。・牧師夫人の「ドイツではまっ先に国民と世界に向かって謝罪しました…」日本のキリスト者として恥じます。・「教皇パウロ三世の奴隸禁止令は国王側の抗議によって一年しかもたなかつた…」「ポルトガルの神父が内政干渉したり集団洗礼強制…」初めて知りました。・カンウィル司教のお話、濟州島民3万人の虐殺、ひどいことです。書けばきりがありません。切手300円分は“共に生きる”的金です。

## ツイッター

### 北九州9条まつりのお知らせ(菜)

手作りでスタートしてから今年で第4回となります。今回、歌のゲストとして鈴木君代さん(真宗大谷派僧侶)がきます。「平和の琉歌」「兵戈無用」「一本の鉛筆」を演奏予定ですので、僧侶の歌を聞きに来てください。

とき／5月3日(土) 10時30分～12時30分

ところ／勝山公園芝生広場(図書館の裏)

※雨天の場合は、ムープ5階大セミナー

楽しい催しがいっぱいです！



・憲法クイズ  
・バルーンアート  
・大声大会

## だまっておれなくなつて

(5)

「キリスト者・九条の会」北九州での講演

## 沖縄という鏡を通して見える日本国

(5)



日本キリスト教団牧師（沖縄在住）

平 良 修 牧師

### 「屈辱の日」

シーボルトは「明らかに天皇自身の利益のためである」と米政府に伝えています。極めてこういう政治行為をしていますが、日本国政府は問えないわけでしょう。裁かれないんですね。こんなことをしたからと云つて。これに懲りてその後は一切そういうことをしていないと思いますけど。

私は、日本政府が沖縄を切り離したあの行為は、天皇が先に意思表示したことによる気づけられたと思うんです。天皇がそう考えていきます。だから日本政府は沖縄を切り離すことをやりやすかつたと思います。沖縄を切り離した上で日本は独立を回復したんです。そのお祝いを最近やつたでしよう。沖縄が怒ったのは当然じゃないですか。沖縄は、そのことを屈辱されたと言つて「屈辱の日」と呼んだんです。日本政府は独立回復したと言つてお祝いしたじゃないですか。お祝いなんかできるはずがないじゃないかと沖縄は声高に言いましたけど聞く耳ないです。

### （沖縄県民の選択）

次に鹿児島以北の方が独立を回復した日本国として憲法の下で生活しているときに、沖縄は20年間も米軍の支配下に置かれたんです。その中で、沖縄の最高権者の高等弁務官の就任式の時に、「あなたを最後にしてくれ」と私が祈つたのは、そういう流れの中でした。軍事支配というのは良くないですよ。それを20年間味わわせたんです。皆さんにはね、憲法9条を楽しんでおられたんでしょうけど、沖縄は憲法9条なんかありません。100%米軍の基地を負つかぶされた生活を強制されているんですから。でも、何とかして自分達を救い

たいと沖縄の人たちは考えますよ。いろんな選択肢がありました。一つは、あきらめるしかない。米軍統括の下で我慢しようという選択肢もありました。

二つめは、米軍が沖縄を統括するというのであればせめてハワイ並みの政治をしててくれという意見もありました。ハワイには多くの沖縄出身者が移民として行っていますから、ハワイの様子がよくわかるんです。その頃、ハワイはまだアメリカの州にはなっていません。準備段階だったのでしょう。しかし、沖縄の人たちから見れば遙かにいい社会生活が保障されているんです。だから米軍統括ならせめてハワイくらいの統括をしてくれという意見もありました。

三つめは独立です。昔そうだったんだから。日本もアメリカも嫌だという人は集まつてこいという声を掛けた人がいましたが、これはあまり民心を掴むことはできませんでしたから、この運動は伸びませんでした。

圧倒的に力を持つたのは日本への復帰です。憲法9条を持っている等弁務官が握っていますからね、日本に憧れなんですね。主権は高獨裁的に。主権在民なんてありません。人権尊重は日本国憲法の柱でしそう。米軍支配下では人権なんて尊重されませんよ。その全てを持つていてる日本国憲法、それを享受しているのが日本国民である。そこに帰るということです。復帰運動です。これが大勢を占めたんです。そして、運動の結果、1972年に日米両政府は沖縄県民の声に押されて、ある意味で負けて、沖縄返還が成就したんです。沖縄県を回復したんです。（続く）

### 編 集 後 記

「平和への道を積極的に歩もう」という姿勢にしばしば出会い、感動したりします。ところが「積極的平和主義」という言葉が政治の舞台に登場するようになった。その「積極的平和主義」の意味は、“日本やアジア地域の平和は日米軍事同盟を中心軸とし、武器輸出三原則を放棄し武器も海外に輸出できるよう積極的にすすめたい” ものらしい。本末転倒とはこのこと。真の平和は“武器よさらば”でありそれを目指すことが「平和への道を積極的に歩むこと」。“平和”的文字に騙されないように。そういうれば“集団的自衛権”を連発する安倍首相だが、それこそ戦争への道。（瀬下）